

和歌山県の農林水産業の概要

特徴・取組

和歌山県は、紀伊半島の南西部にあって、北は大阪府、東は奈良県と三重県、南は熊野灘に接し、西は紀伊水道をはさんで徳島県と向かい合っている。面積の8割以上を山地が占め、平野はかなり少なく、紀の川流域の和歌山平野と有田川や日高川の下流に小さな平野が広がっている。気候は、県北部が瀬戸内海式気候で、年間を通じて天気や湿度が安定しており、降水量も少ない。南部は太平洋岸式気候で、黒潮の影響を受け温暖で台風の影響を受けやすく極めて降水量の多い地域もある。また、日照時間が長く、夏は比較的涼しく、冬は暖かい傾向がみられる。

和歌山県の産業は産出額で見ると、製造業の構成比が最も高く、なかでも鉄鋼、石油、化学の3分野で約7割を占めている。また、ニット、パイル等の繊維や皮革等の素材関連産業、漆器、家庭用品、家具、建具等の生活関連産業等が集積し、数多くの産地が形成されている。主な産業は和歌山市を中心とする北部地域に集中している。

農業は、紀北地域のかき、もも、紀中地域のみかん、紀中・紀南地域のうめなど県内全域で果樹栽培が盛ん。果樹の生産は産出額や栽培面積において県全体の6割以上を占め、本県農業の基幹作物となっている。

林業は、古くから「紀州・木の国」と呼ばれ、すぎ、ひのきなどの優良材の生産県として全国に知られている。また、白炭（紀州備長炭）は全国有数の生産量を誇る。

水産業は、内海性の瀬戸内海と外洋性の太平洋に二分され、それぞれの海域特性に応じて各種漁業が営まれている。内水面では紀の川、有田川、日高川及び富田川周辺地区で、清流の伏流水を利用したあゆの養殖業が営まれている。

和歌山県では、令和8年度の重点施策として、農地の集積や農業経営の規模拡大の促進、収益性の高い農業生産体制の構築、循環型林業の実践、紀州材の利用拡大、水産業の経営基盤強化に取り組むこととしている。主な新規事業は、気候変動など生育環境の変化に対応した新技術開発に向けた研究の強化、未利用果実の活用に関心を持つ食品事業者と農業者とのマッチングの推進、養殖業の成長産業化を図るための陸上養殖の適地調査や、新魚種・新養殖システムの導入支援などを実施する。また、紀州材の生産・加工を行う事業者に対し、生産性向上や生産コスト低減に資する機械設備の導入支援や、販路開拓に向けた製材所の既存設備の高度化支援などの予算を拡充する。

主な農林水産物

みかん

収穫量は21年連続日本一で全国の25%を占める。有田地方のみかんは有田みかんとして有名。
(収穫量全国1位)



うめ

みなべ町、田辺市を中心に栽培され、収穫量は全国の約6割を占める。主な品種は、南高、古城等。
(収穫量全国1位)



かき

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約2割を占める。主な品種は、刀根早生等の渋柿が約8割を占める。
(収穫量全国1位)



ハッサク（八朔）

紀北地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約7割を占める。
(収穫量全国1位)



スターチス

紀中地域を中心に栽培され、出荷量は全国の約6割を占める。



グリーンピース

紀中地域を中心に栽培され、収穫量は全国の約4割を占める。主な品種は、うすいえんどう。
(収穫量全国1位)



くろまぐろ

平成14年、串本町で世界で初めてくろまぐろの完全養殖に成功。収穫量は全国の約1割を占める。
(収穫量全国6位)



いせえび

熊野灘を中心に漁獲され、漁獲量は全国の約1割を占める。
(漁獲量全国3位)



あゆ

県内各地で養殖され、収穫量は全国の約2割を占める。
(収穫量全国3位)

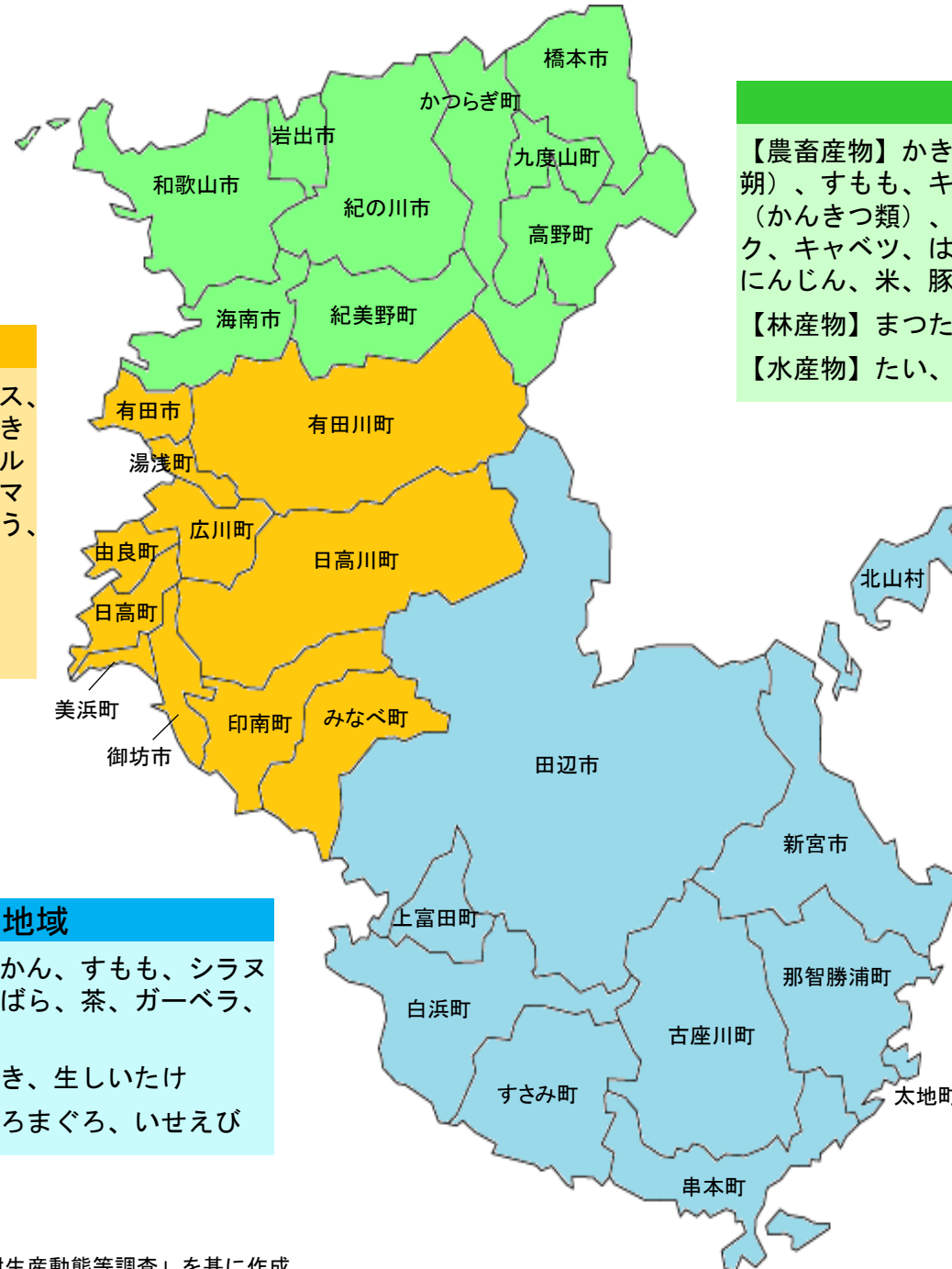


白炭

紀中地域を中心に生産され、生産量は全国の約3割を占める。白炭は紀州備長炭として知られている。
(生産量全国2位)



和歌山県内の各地域における農林水産物



紀中地域

【農畜産物】みかん、うめ、グリーンピース、ハッサク（八朔）、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、セミノール（かんきつ類）、サンショウ、すいか、トマト、きゅうり、スターチス、宿根かすみそう、ブロイラー

【林産物】白炭、木・竹酢液

【水産物】いわし、あじ、たちうお、あゆ

紀北地域

【農畜産物】かき、みかん、もも、ハッサク（八朔）、すもも、キウイフルーツ、キヨミ（清見）（かんきつ類）、シラヌヒ（デコポン）、イチジク、キャベツ、はくさい、たまねぎ、だいこん、にんじん、米、豚、採卵鶏

【林産物】まつたけ

【水産物】たい、あゆ

紀南地域

【農畜産物】うめ、みかん、すもも、シラヌヒ（デコポン）、じゃばら、茶、ガーベラ、乳用牛

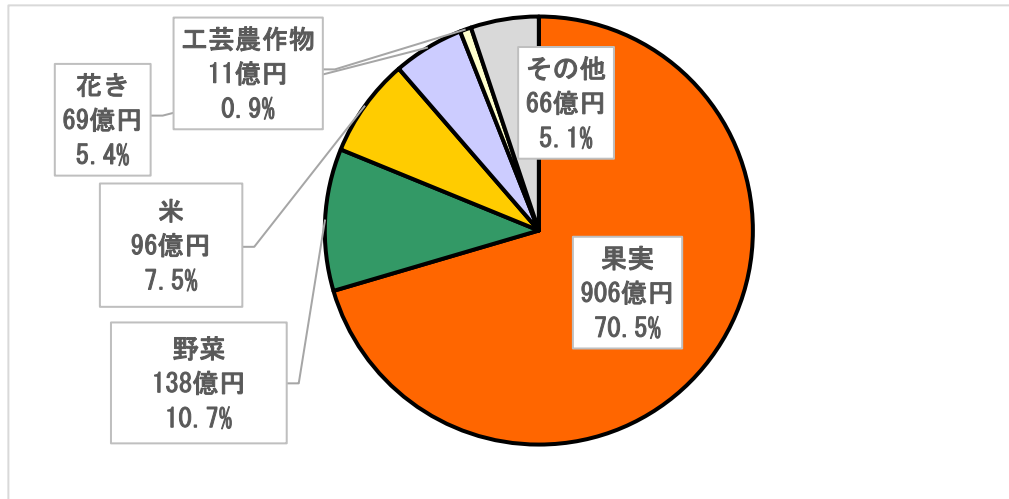
【林産物】すぎ、ひのき、生しいたけ

【水産物】かつお、くろまぐろ、いせえび

和歌山県の農業（1）

- ・農業産出額は1,286億円で全国31位。うち米が96億円（7.5%）、野菜が138億円（10.7%）、畜産が36億円（2.8%）。
- ・農畜産物の生産状況は、グリーンピース、みかん、うめ、かき、スターチス、いちじく、セミノール、ハッサク（八朔）、サンショウが全国1位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	和歌山県	全国	全国順位
グリーンピース	収穫量	R6 1,700 t	4,110 t	1
みかん	収穫量	R6 141,700 t	559,600 t	1
うめ	収穫量	R6 29,700 t	51,600 t	1
かき	収穫量	R6 32,100 t	167,300 t	1
スターチス	出荷量	R6 63,600 千本	112,200 千本	1
いちじく	収穫量	R5 1,692 t	9,260 t	1
セミノール	収穫量	R5 1,241 t	2,483 t	1
キヨミ（清見）	収穫量	R5 5,138 t	13,737 t	2
ハッサク（八朔）	収穫量	R5 17,446 t	23,439 t	1
サンショウ	収穫量	R5 308 t	462 t	1

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」

農業産出額のデータ

区分	和歌山県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,286 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	31
米	96 億円 (7.5)	25,524 億円 (23.7)	42
麦類	x 億円	582 億円	- *
雑穀	0 億円	87 億円	44
豆類	0 億円	621 億円	44
いも類	2 億円	2,565 億円	47
野菜	138 億円 (10.7)	25,510 億円 (23.7)	41
果実	906 億円 (70.5)	10,112 億円 (9.4)	4
花き	69 億円	3,423 億円	17
工芸農作物	11 億円	1,577 億円	17
その他作物	x 億円	583 億円	- *
畜産	36 億円 (2.8)	36,654 億円 (34.0)	45
肉用牛	8 億円	7,861 億円	44
乳用牛	6 億円	10,035 億円	47
生乳	6 億円	8,937 億円	47
豚	1 億円	7,567 億円	47
鶏	16 億円	10,170 億円	43
鶏卵	11 億円	5,764 億円	41
ブロイラー	4 億円	4,259 億円	36 *
その他畜産物	4 億円	1,021 億円	13
加工農産物	0 億円	565 億円	43

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

和歌山県の農業（2）

- ・耕地面積は3万700haで全国38位。うち田が8,930ha、畑が2万1,800ha。
- ・農業経営体数は1万5,299経営体で全国24位。うち法人経営体数が195経営体で44位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は2,261経営体で全国29位。うち法人数が110法人で45位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が6,300万円（売上）で全国20位、農業経営体数は20経営体で7位。

耕地面積

区分	和歌山県	全国	全国順位
耕地面積	30,700 ha	4,272,000 ha	38
田	8,930 ha	2,319,000 ha	42
畑	21,800 ha	1,952,000 ha	21
普通畑	2,240 ha	1,118,000 ha	44
樹園地	19,500 ha	248,600 ha	3
牧草地	30 ha	585,900 ha	43
参考) 総土地面積	4,724.65 km ²	377,979.74 km ²	30

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	和歌山県	全国	全国順位
荒廃農地面積	3,334 ha	256,667 ha	28

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	和歌山県	全国	全国順位
農業経営体数	15,299 経営体	836,054 経営体	24
法人経営体数	195 経営体	33,819 経営体	44
総農家数	21,138 戸	1,394,135 戸	31
販売農家数	14,570 戸	792,808 戸	24
参考) 世帯総数	394,483 世帯	55,830,154 世帯	39
集落営農数	4 集落営農	13,952 集落営農	46

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	和歌山県	全国	全国順位
担い手への集積面積	10,466 ha	2,627,068 ha	38
集積率	34.1 %	61.5 %	34

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	和歌山県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	22,830 人	1,036,228 人	22
男	13,234 人	659,332 人	24
女	9,596 人	376,896 人	17
65歳以上	15,030 人	721,311 人	22
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	65.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	2,261 経営体	212,136 経営体	29
法人数	110 法人	29,684 法人	45
参考) 人口総数	922,584 人	126,146,099 人	40

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	和歌山県	全国	全国順位	
農産加工	総額	17,608 百万円	1,006,107 百万円	20
	事業体数	700 事業体	26,910 事業体	11
農産物直売所	総額	17,399 百万円	1,134,381 百万円	32
	事業体数	190 事業体	20,960 事業体	37
観光農園	総額	273 百万円	39,113 百万円	36 *
	農業経営体数	60 経営体	4,350 経営体	23
農家民宿	総額	63 百万円	4,933 百万円	20 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	218 百万円	39,900 百万円	41 *
	事業体数	10 事業体	1,390 事業体	42

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

和歌山県の林業

- ・林業産出額は36.1億円で全国31位。うち木材生産が14.5億円、栽培きのこ類生産が13.5億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国32位、白炭が全国2位、まつたけが3位、木酢液等が8位。

林業産出額

区分	和歌山県	全国	全国順位
林業産出額	36.1 億円	4,769.8 億円	31
木材生産	14.5 億円	2,369.4 億円	33
栽培きのこ類生産	13.5 億円	2,322.7 億円	27

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区分	和歌山県	全国	全国順位
素材生産量	128 千m ³	19,763 千m ³	32
針葉樹	127 千m ³	18,398 千m ³	31
すぎ	78 千m ³	11,716 千m ³	33
ひのき	48 千m ³	3,019 千m ³	23
広葉樹	1 千m ³	1,365 千m ³	42
白炭	生産量 871 t	2,637 t	2 *
なめこ	生産量 100 t	23,874 t	14 *
まつたけ	生産量 2 t	51 t	3 *
木酢液等	生産量 11,631 l	1,535,689 l	8 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区分	和歌山県	全国	全国順位
林野面積	359,897 ha	24,744,214 ha	25
国有林	16,063 ha	7,117,059 ha	35
民有林	343,834 ha	17,627,155 ha	21
人工林面積	218,528 ha	10,059,386 ha	17

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区分	和歌山県	全国	全国順位
製材工場数	89 工場	3,547 工場	15
製材用素材の入荷があった工場数	82 工場	3,492 工場	18
国産材のみ	73 工場	3,013 工場	18
国産材と輸入材	- 工場	386 工場	-

出典：「令和6年木材統計」

林業経営体数

区分	和歌山県	全国	全国順位
林業経営体数	237 経営体	23,300 経営体	34
法人経営体数	58 経営体	3,813 経営体	27

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

和歌山県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は148億円で全国27位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のいせえびが全国3位、いさきが5位、海面養殖業のくろまぐろ、まだいが6位、内水面養殖業のあゆが3位。
- ・漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が22億円で全国4位、事業体数は10事業体で18位。

漁業産出額

区分	和歌山県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	148 億円	14,785 億円	27
海面漁業	80 億円	8,894 億円	27 *
海面養殖業	68 億円	5,891 億円	21 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	和歌山県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	1,279 経営体	65,662 経営体	21
内水面漁業経営体数	17 経営体	4,076 経営体	39

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	和歌山県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	1,896 人	121,389 人	24
男	1,830 人	109,757 人	23
女	66 人	11,632 人	26

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	和歌山県	全国	全国順位
漁船隻数	1,943 隻	109,284 隻	22
動力漁船	1,416 隻	58,907 隻	17

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	和歌山県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	17,123 t	3,589,121 t	33 *
海面漁業漁獲量	14,054 t	2,786,195 t	29
いせえび	72 t	954 t	3
いさき	183 t	3,303 t	5
海面養殖業収穫量	3,069 t	802,927 t	23 *
まだい	1,633 t	68,439 t	6 *
くろまぐろ	1,274 t	18,687 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	618 t	47,046 t	15 *
内水面漁業漁獲量	7 t	17,915 t	32
あゆ	5 t	1,414 t	20
内水面養殖業収穫量	611 t	29,131 t	11
あゆ	605 t	3,487 t	3

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

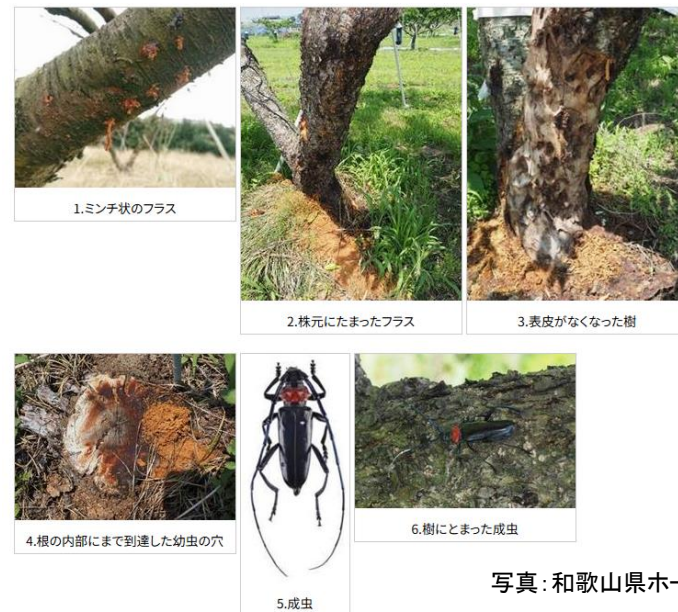
区分	和歌山県	全国	全国順位
水産加工	総額	2,972 百万円	193,147 百万円
	事業体数	10 事業体	1,160 事業体
水産物直売所	総額	2,229 百万円	34,259 百万円
	事業体数	10 事業体	780 事業体
漁家民宿	総額	88 百万円	5,440 百万円
	漁業経営体数	10 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	1,000 百万円	13,511 百万円
	事業体数	10 事業体	380 事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

和歌山県の農林水産業の話題等（1）

クビアカツヤカミキリの被害発生状況と防除対策

クビアカツヤカミキリは体長2～4cmの昆虫で、幼虫が樹木内部を食害し、枯死させる害虫であり、特定外来生物に指定されている。主にバラ科樹木であるさくら、もも、うめ、すももなどで被害が確認されている。和歌山県では、令和元年11月にかつらぎ町のもも園地においてフラス（木くず状の排出物）が初めて発見された。被害発生状況は、令和7年12月末時点で、農地（もも、すもも、うめ）において6市7町、1,918園地、10,700樹で被害が確認されている。被害は紀北・紀中地域を中心に拡大しており、うめの主要産地であるみなべ町及び田辺市への被害拡大が懸念されている。和歌山県では、発見時の通報体制を整備し、早期発見・早期防除に努めるとともに、被害樹の伐採・抜根や成虫の飛散防止ネット被覆に対する支援を実施している。



写真：和歌山県ホームページ

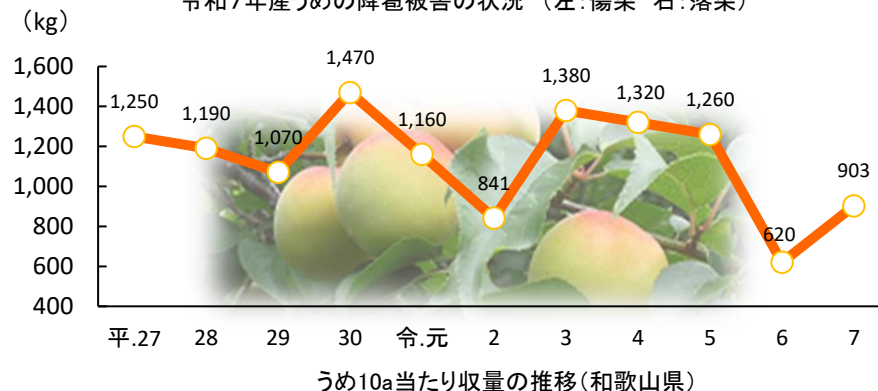
2年連続被災となった令和7年産うめの降雹被害と支援策

令和7年産のうめ収穫量は4万3,000tで、歴史的な不作となった前年産に比べ45%増加したものの、前々年産と比べると30%減少した。これは、開花の遅れや受精不良等により結果数が減少したことに加えて、4月6日から15日にかけて数度に渡り発生した降雹により、果実等に甚大な被害が発生したことなどによる。また、和歌山県が取りまとめたうめの被害額は48億円で、前年産の被害額22億円を大幅に上回った。

和歌山県では、降雹被害が甚大であることに加え2年連続の被災となったことから、農協を融資機関とする知事特認の特別融資（上限400万円、利子は県、市町村、農協が負担、償還期限は7年以内）の貸付限度額等を拡充したほか、うめ生産者の営農継続及びうめ生産量の維持を図るため、次期策に向けた礼肥（令和7年産の収穫後に施用される肥料）の適正施肥の取組を「うめ生産安定緊急対策事業」により支援した。



令和7年産うめの降雹被害の状況（左：傷果 右：落果）



和歌山県の農林水産業の話題等（2）

有田・下津地域が新たに世界農業遺産に認定

令和7年8月、和歌山県「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」（海南市、有田市、湯浅町、広川町、有田川町）が国際連合食糧農業機関（FAO）による審査を経て、世界農業遺産に認定された。これにより、和歌山県内の世界農業遺産認定地域は、平成27年12月に認定された「みなべ・田辺の梅システム」とあわせて2地域となった。また、令和7年9月には、「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」のロゴマークが決定された。

【有田・下津地域の石積み階段園みかんシステムの概要】

長峰山脈を挟んで隣接する有田地域・下津地域は、400年以上前から農家が海岸部から内陸部の山頂付近まで壮大な石積み階段園を築き上げ、優良品種系統の導入による産地の形成、多様な地勢・地質に適応した栽培技術や独自の貯蔵技術（蔵出し）により、高品質な温州みかんを生産し、7か月に及ぶ長期リレー出荷を可能とした。2つの日本農業遺産認定地域（海南市下津地域の「下津蔵出しみかんシステム」と有田地域の「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」）が融合した伝統的農業システム。



日本一の生産量を誇る有田地域のみかん産地



下津地域のみかん産地
園内に設置した蔵で貯蔵し、糖酸のバランスを整えて年明けに出荷



「有田・下津地域の石積み階段園みかんシステム」のロゴマーク

—作者の思い—

400年以上にわたり築かれてきた石積み階段園。その一段一段には、柑橘農業を切り拓いてきた人々の知恵と誇りが刻まれています。みかんの果実に見立てたモチーフには、石積み階段園の風景を重ねました。葉のように添えたホウジロは、自然とともにある暮らしの象徴です。モチーフを右肩上がりになるように配置することで、「これからも末永く継承され、愛され続けるみかんシステムであるように」という願いを込めました。

みかんの産出額10年連続日本一

和歌山県では、平成27年度からJAグループと連携し、温州みかんの市場評価を高めるため、糖度選別が可能な光センサー選果機を利用して厳選したみかんを市場に出荷する「みかんの厳選出荷」に取り組んでいる。

令和6年産みかんは、良食味に仕上がったことや厳選出荷が徹底された結果、高単価で取引されたことから、みかんの産出額は平成27年から10年連続で日本一となった。

今後も、和歌山県は厳選出荷の徹底に加え、優良品種への改植、天候に左右されず高品質みかんの生産が可能なマルチ栽培の推進等により、販売単価の向上を図りながら、産出額1位を維持していくこととしている。

みかんの収穫量は、平成16年産以降、21年連続日本一を維持している。

（参考）令和6年産みかんの収穫量上位3県

①和歌山県 141,700t、②静岡県 88,500t、③愛媛県 76,100t

